

1日目

5/30 土

会場

沖縄県・
浦添市てだこホール

記念講演 14:05~

沖縄から伝えたい。米軍基地の話。

— 他国地位協定調査について — 沖縄県

2日目

5/31 日

分科会

9:30~16:00

会場

■ 沖縄産業支援センター
■ ネストホテル那覇
■ 沖縄県青年会館

申込番号 1 沖縄産業支援センター

地域医療と住民福祉の実態を知り、医療・社会保障のあり方を考える
～いのちが守られる地域をつくろう～

あらゆる世代と地域に広がる貧困・格差、高齢化と少子化と人口減少の同時進行、医療・介護の一体改革と医療従事者の働き方改革や公的病院再編の推進、住民のいのち・暮らしを守る医療・社会保障はいま一。様々な困難に直面しつつも患者・住民に寄りそう現場のチャレンジ、受療権保障に向けた実践、国や自治体の施策と地域の実態・課題を明らかにするレポートを募集します！

申込番号 2 沖縄産業支援センター

災害への備えと減災をめざして

～インフラ・制度拡充と医療・介護労働者の役割～

毎年のように地震、豪雨、暴風による被害が起きていますが、公的な救援や医療体制の充実は一方向に進んでいません。災害から命と暮らしを守るため大幅増員と医療介護の充実が必要ですが、同様に「平時からの備え」も不可欠です。レポートは①事業所・地域のハザードマップと災害対策 ②災害時訓練 等を中心に募集。皆さんから寄せられる貴重な経験と考察をもとに「災害から人権を守る社会」について語り合います。ご参加お待ちしております！（レポートの有無にかかわらず勤務先地域の「ハザードマップ」をご持参ください）

申込番号 3 沖縄県青年会館

保健予防活動を地域住民とともに

～「地域づくり」「フレイル予防」「ヘルスプロモーション」の取り組み～

社会的なつながりが健康づくりに深く関わっていることが近年注目されており、地域づくりがますます重要になってきています。昨年の分科会では保健予防活動の実践発表と助言者の本田宏先生から「こころ」と「身体」のつながりについて学びました。各地の取り組み報告をお待ちしています。

申込番号 4 ネストホテル那覇

看護ケアの連続性と質

昨今、患者の療養場所は多様化しています。いかなる療養場所においても、私たちは患者が安心してその人らしく生活できるケアの提供をめざすべきです。そのためには、施設を超えて携わる人々の連携が不可欠です。この分科会では、医療・福祉施設と地域の看護職・多職種で、ケアの意味と価値を改めて共有し、患者にとって連続性のあるケアの提供について考えます。

申込番号 5 ネストホテル那覇

後継者育成とともに育ちあう職場づくり

～看護・介護の喜びを伝えたい～

どんな看護・介護をめざし、何を大切に日々奮闘しているのか、世代や働く分野を超えて語り合しましょう。看護・介護本来の仕事ができ、一人ひとりが健康で豊かに働き続ける一助となるような交流をしましょう。看護学生の現状やその背景を知るミニ学習会も行います。日々の看護・介護実践、看護学生や職員育成の取り組み、現場を支える労働組合の活動などのレポートを募集しています。

申込番号 6 ネストホテル那覇

医療政策と看護労働

国は、看護現場に積極的な解決策も示さず、仕事を辞めたい看護師が7割超。今後訪れる超高齢少子社会2025年に向け看護の担い手を確保できるのか。看護現場では今以上の人手不足が予測される。現行の政策で私たちの働き方に変化はあるのか。職場の改革でどんな看護ができるのか。「看護の未来」について討論への参加と、改善に向けての職場や労働組合の取り組みなどのレポートをお待ちしています。

申込番号 7 沖縄県青年会館

障がい児(者)の権利と心に寄り添う医療・福祉

～障がい児(者)が生き生きと暮らせるサポート体制の在り方を考える～

障がい児(者)の多様性(ダイバーシティ)を尊重し、お互いを受容(インクルージョン)し合って、安心・安全に暮らせるような社会の創造を目指すために、地域連携や支援の在り方は、どうあるべきかを考え合います。

医療、福祉、教育、介護、就労、成年後見等々で、障がい児(者)の方々に携わる家族・支援者の皆さんの参加と、レポートをお待ちしています。

申込番号 8 沖縄県青年会館

日本の精神保健医療福祉の改善を目指して

～患者主体の改革とは～

日本と同様に精神医療改革が遅れていたベルギーではこの10年で改革が大きく前進した。改革の基本理念はリカバリー志向とコ・プロダクションを中心に据えた政策決定システムである。日本の精神医療改革は患者・家族中心と言うより、病院・施設・専門職中心のサービスから脱する事が出来ず閉塞状態である。分科会では当事者を主体に据え関係者が共同した運動の取り組みをどう作るか議論したい。

参加費

2日間参加…6,000円 1日のみ参加…3,000円
※日本医労連の組合員以外的一般参加者…500円 ※学生…無料

特別報告 15:50~

「沖縄の子どもたちの貧困問題、人権と平和」

上間 陽子(琉球大学教授)



琉球大学教育学研究科教授。専攻は教育学。おもに逸脱・非行問題を研究している。現在、「沖縄・風俗業界で働く若者調査」「若年出産女性調査」という二つの調査を沖縄県内で実施。著書に「裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち」(太田出版)など。

申込番号 9 沖縄県青年会館

リハビリテーションの現場で求められるもの

リハビリテーションは従来の医療・介護・福祉の領域だけでなく、地域包括ケアシステムの中でも重要な役割を担っています。様々な領域で日々活躍する仲間の取り組み、労働条件、職場環境など全国の仲間と共有、討議しませんか。皆さんの参加、レポート報告をお待ちしています。

申込番号 10 ネストホテル那覇

患者のための臨床検査

臨床検査の仕事で困ったことや不安なことはありませんか?そんな悩みを全国の仲間と語り合えるチャンスです。色々な意見を聞いて、みんなで解決していきましょう。この分科会ではレポート報告と課題別討論(夜勤問題、採血問題、業務拡大等)を中心に、全国の仲間と経験を共有します。恒例の交流会(予定)は、疲れを癒し親睦を深める場として定着しています。皆さんの参加とレポート報告をお待ちしています。

申込番号 11 沖縄産業支援センター

これからの病院給食と職場の環境を考える

管理栄養士・栄養士や調理師が日々努力し得た技術を、全国の仲間と共有し討論をします。レポートを中心に全国で同じ問題を抱えている仲間を助けるとともに次世代を育てていきましょう。

申込番号 12 沖縄産業支援センター

職場の安全衛生と環境改善

この分科会では、労安活動の活性化で、労働者が健康でいきいきと働きつづける職場改善の取り組みを共有したいと考えています。

昨年4月から「労働時間法制の見直し」により、職場の働き方に変化が生まれていると思います。国際的にみれば、ILOが「仕事の世界における暴力とハラスメントの除去に関する条約」を採択しました。

「8時間働けばふつうに暮らせる社会」の実現へ向けて、職場の労安活動の活性化が重要になっています。全国のみなさんの取り組みを沢山持ち寄りいただき、経験交流を深めていきたいと思います。

申込番号 13 沖縄産業支援センター

施設介護

「特養あずみの里」業務上過失致死事件裁判で無罪を勝ち取るため、全国から署名と「介護の未来は私たちがつくる」という思いが集まっています。国が定める職員の配置基準は改善されず、人手不足で労働は過酷さを増しています。しかし、私たちは利用者がその人らしく生きられるよう根拠に基づき支援しています。研究や実践事例、職場づくりや処遇改善の取り組み等を共有し、新たな気づきを持ち帰りましょう。

分科会レポート募集中

- 内容
分科会の問題提起に沿って日頃の実践をまとめてください。
- 提出先
第47回 医療研究全国集会組織委員会
※詳しくは日本医労連
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
- 締切
5月6日(水)必着

医療研究集会の魅力は、集会2日目の分科会討論です。全国の経験を持ち寄り、テーマ別に「レポート」に基づく討論と交流を行います。

申込番号 14 沖縄産業支援センター

在宅介護

在宅介護は、一人ひとりが「その人らしさ」を見極め、チームで暮らしを支えており、利用者の日常に寄り添えることが特徴です。現場の実践から学んだ喜びや苦い経験を交流しあい、在宅介護の醍醐味を共有しながらさらに深めていきましょう。

申込番号 15 沖縄産業支援センター

原発の現状と放射線従事者の役割、賃金労働条件を考える

東日本大震災で起きた原発問題で「原発ゼロと廃炉に向けた展望」について日本大学専任講師野口邦和先生をお招きし、それらの現状や知識を深めます。また放射線従事者の賃金労働条件を話し合います。皆さんで議論し、改善に向けた討論をしましょう。

申込番号 16 沖縄産業支援センター

薬と社会 ～日常の活動や困難をおおいに交流しよう～

薬機法が7年ぶりに改正され、地域医療の担い手として、薬剤師・薬局も他職種と連携して地域で積極的な役割を果たすことが求められています。

「薬と社会」分科会では、薬機法改正関連、かかりつけ薬剤師、ポリファーマシー・残薬問題、薬業連携、在宅訪問、医薬品評価、平和・薬害の取り組み、経済的困難への対応、育成・確保問題等々、薬剤師活動や現場の困難について、レポートに基づいて討論し交流します。簡単なレポートで構いませんので、多くのレポート提出と当日参加をお願いします。

申込番号 17 ネストホテル那覇

わたしたちが大切にしたい保育 ～院内保育所のあり方～

結婚・出産後も働く女性が増え医療現場では「院内保育所」への期待とともに病児・夜間保育など求められることも増えています。しかし「院内保育所」といっても、統一された基準もなく働き方・保育内容も様々です。私たちが「院内保育所」の保育士として抱えている悩みや子どもにとって「より良い保育とは何か」を共有したいと思います。私たちは「保育」で繋がっています。保育を力にしていましょ。共に考えましょ。みなさん、ぜひご参加下さい。お待ちしております！

動く分科会「沖縄戦から今を考える」

申込番号 18A 南風原コース(先着40名)

沖縄県庁前(8:00集合・出発)→嘉数高台→南風原文化センター→平和の礎→昼食→ひめゆりの塔→魂魄の塔→那覇空港(16:30帰着・解散)

申込番号 18B 糸数壕コース(先着40名)

沖縄県庁前(8:00集合・出発)→嘉数高台→糸数・アブチラガマ→平和の礎→昼食→ひめゆりの塔→魂魄の塔→那覇空港(16:30帰着・解散)

動く分科会参加者は、医療研参加費+別途4,000円(昼食代・入場料含む)